

大喜利ハッカソン

アプリ名：Blocken Camera

背景

- 写真家であり、同時に**ブロックチェーン上でアートを作っている人間**
- ブロックチェーンを「日常」に感じてほしい → **もっと身近で、もっと馴染みやすい体験**を届けたい
- ブロックチェーンには**探索の楽しさ**がある
 - いろんなdAppsやプロジェクトを探検すること自体が面白い！
- だからこそ、**真面目すぎず、ちょっとふざけて、笑えるアプリ**を作りたいとなった

着想

- 着想：アスキーアートで日常を表現する（すでに似たアプリはある）
 - それだけじゃ物足りない！
 - ブロックチェーンのリアルタイムトランザクションデータを混ぜ込んで、予測不可能なぐちゃぐちゃ感を追加！

ここが押しポイント！

1. カメラを向けても、何を撮ってるか全くわからない

→ 目的は「きれいな写真を撮る」ことじゃない

2. 日常の風景から生まれるランダムパターンの面白さを探索するアプリ

- ブロックチェーンの「探索の楽しさ」をそのまま体験できる設計

3. ボタン一つでその瞬間のアスキーアートを生成・保存

- SVG形式でダウンロード可能

- NFT化もワンタップ → 全データ（SVG）をオンチェーン保存

4. ブロックチェーン探索の楽しさを体感型エンタメに変換！

- 「次はどんなパターンが出るかな？」と探検したくなる中毒性

ここがこだわりポイント

1. 意図的に「何を撮ってるかわからない」設計

- カメラの向きや周囲の状況でパターンが劇的に変わる
- → **どこにカメラを向けたら面白い絵になるか？** を自然と探してしまう仕掛け

2. 全アスキーアートを単一の青色（#00A1D6 系）に統一

- 意外と青一色の世界が**クールで印象的に！**
- ブロックチェーンらしい「デジタル感」と「統一感」が爆誕

3. NFTは100%オンチェーン

- SVGデータをそのままチェーンに刻む
- 永久性・真正性・唯一性を保証
- 端末に保存もできる